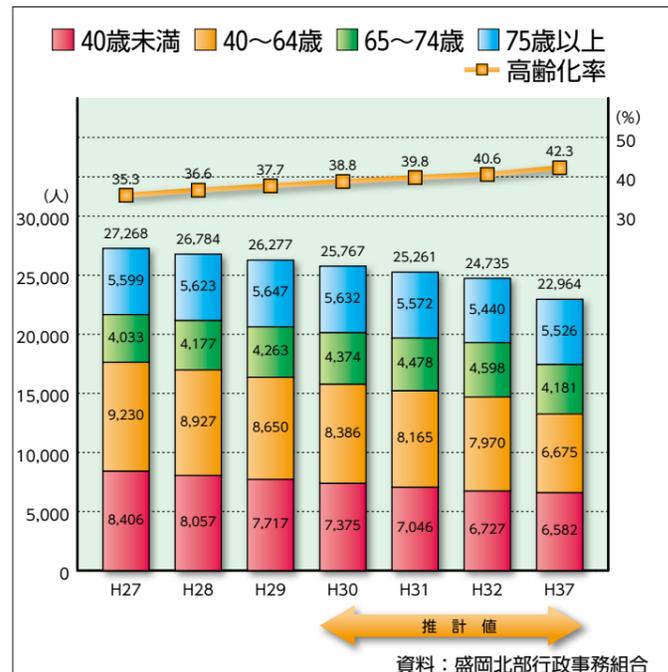




30～32年度 市高齢者福祉計画を策定

市は、市民の健康を守り、生涯を通じて生き生きとした暮らしを営むことができるよう、30年度を初年度とする3カ年計画「市高齢者福祉計画」を策定し、保健・医療・福祉の連携による安心のまちづくりを目指します。

グラフ 市の年齢4区分別総人口と割合の推移



進む市の人口減少と高齢化
左のグラフに示すとおり、本市の人口は2万6277人(平成29年9月末時点)で、毎年1・8%程度の減少が続いています。一方、65歳以上の人口は9910人(同時点)で、31年までは年々増加が見込まれています。団塊の世代が後期高齢者となる37年度は、74歳以下の人口が減少していく中で、75歳

以上の人口がさらに増加し、高齢化率は42・3%に上昇すると推計されています。
市高齢者福祉計画の位置づけ
本計画は、37年を目前に、生涯を通じて住み慣れた地域で生き生きとした暮らしを営むことができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援の5つのサービスを一体的に提供する「地域包括ケアシステム」の深化・推進を図るため

の計画として位置づけられます。そして、次に掲げる5つの基本目標のもと、高齢者の支援を充実させていくものとなります。

基本目標1
生きがいづくりと社会参加活動の推進

生涯学習、スポーツ活動、趣味などの機会や場を提供し、高齢者がいつまでも健康で生きがいを持ちながら生活できるよう、健康づくりや生きがいづくりを支援していきます。

また、豊かな知識や経験を持つ高齢者が、地域社会の新たな担い手となり、一般就労、地域活動、ボランティアなどの社会活動に参加しやすくなるような仕組みづくりの確立を図っていきます。

基本目標2
介護予防と地域リハビリテーションの推進

高齢期になっても要介護状態とならないよう「新しい総合

事業」で介護予防を充実していきます。また、健康寿命の延伸を図っていきます。
また、医療と介護が連携し、地域で包括的・継続的な地域リハビリテーションを展開していくような支援していきます。



タオル体操をする健康教室参加者(綿帽子温泉館)

基本目標3
介護・福祉サービスの充実

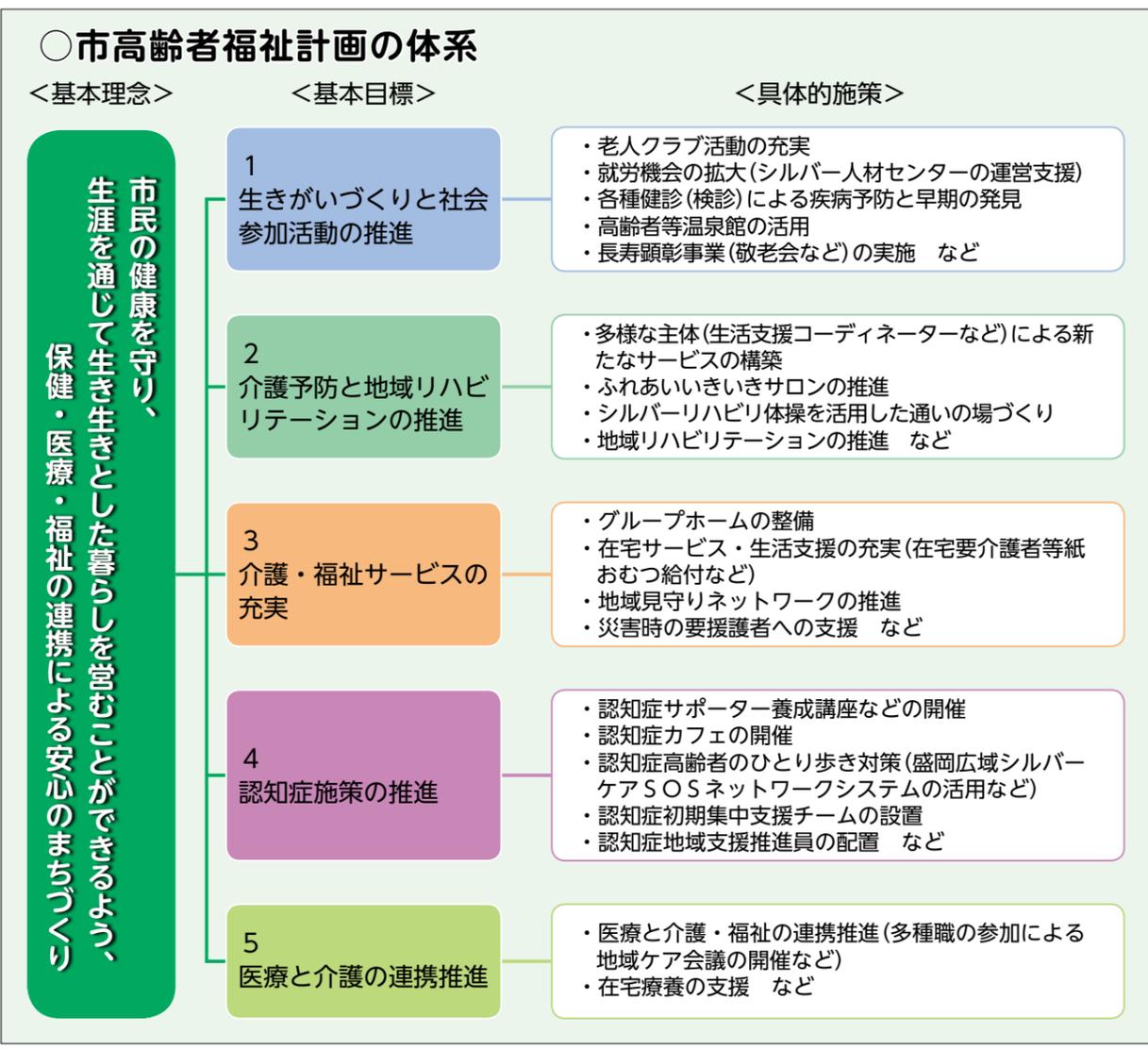
「地域包括支援センター」を相談窓口として、高齢者それぞれが必要とする各種サービスを受けられるようサービスの充実を図るとともに、高齢者を地域で見守り支えるネットワークおよび介護する家族に対する援助のネットワークを生かした支援活動を推進していきます。

基本目標4
認知症施策の推進

認知症で悩む高齢者のための相談・支援体制の充実を図るとともに、医療を必要とする人への早期受診や継続的な支援のため、関係機関との連携を図ります。
また、認知症高齢者とその家族が安心して生活ができるよう、認知症への正しい知識と理解促進のための普及啓発を行い、地域で見守り・支え合う地域づくりを進めます。

基本目標5
医療と介護の連携推進

入退院を繰り返す場合であっても、切れ目なく必要なサービスが受けられるよう、医療と介護の連携強化を図る必要があります。そのため、医療と介護の関係者の連携(顔の見える関係)を深め、医療の情報の共有化、連携に対応できる人材の育成や研修を実施します。



皆さんの意見を反映

本計画の策定に当たっては、盛岡北部行政事務組合が実施したアンケートを参考としました。調査は、29年1月から2月までの間、盛岡北部管内(本市と葛巻・岩手の両町)の40歳以上の住民や施設サービス利用者など6千人を対象として郵送により行われ、3259人から回答を得ました。

また、14人の委員で構成する市高齢者福祉計画策定委員会(及川忠人委員長)を4回開催し、意見を頂いたほか、計画の原案に対して意見を聴くパブリックコメントを30年2月27日から3月18日まで行いました。

本計画は、市ホームページから見るができます。冊子を希望される人は、健康福祉課高齢福祉係(☎内線1097)まで連絡願います。



本計画の冊子